先行研究リスト

有本泰子,大野澄雄,飯田仁「「怒り」の発話を対象とした話者の感情の程度推定法」『自然言語処理』14.3 (言語処理学会,2007)pp.147-163.

石澤亜耶乃,島田英昭「ワーキングメモリの負荷が共感的反応に及ぼす影響－二重過程理論に基づく検討－」『認知科学』21.2, pp.245-253.

稲川恵一,新宅弘幸,小倉茂,他「韻律情報の制御を行った合成音声による感情の考察」『工学院大学研究報告 = Research reports of Kogakuin University』86(工学院大学,1999)pp.199-205.

今井芳枝,雄西智恵美,板東孝枝「納得の概念分析－国内文献レビュー－」『日本看護研究学会雑誌』39.2 (日本看護研究学会,2016)pp.73-85.

岩井淳,矢野良和,大熊繁「韻律的特徴による感情音声の分類と認識に関する基礎検討」『ファジィシステムシンポジウム講演論文集』20,pp.192-195.

大島寿美子「婦人科がんの患者会を対象とした医師とのコミュニケーションに関する基礎的研究: 医師による情報提供を中心として」『北星学園大学文学部北星論集』44.1(北星学園大学文学部, 2006)pp.93-101.

岡登洋平,加藤佳司,山本幹雄,板橋 秀一「韻律情報を用いた相槌の挿入」『情報処理学会論文誌』40.2(情報処理学会,1999) pp.469-478.

越智雅人,黒田久泰「アクセント型とモーラを考慮することによる感情を含んだ音声変化の解析」『人工知能学会全国大会論文集』JSAI2014(人工知能学会,2014)pp.2C33-233.

小野貴大,斎藤博人,金子博,他「ポスター講演 音声パラメータと感情印象変化の対応モデルの構築 : 話速とピッチを制御された音声の感情印象の改善」『電子情報通信学会技術研究報告 = IEICE technical report : 信学技報』114.440 (電子情報通信学会,2015)pp.193-198.

苔縄陽子,津崎実,加藤宏明,匂坂芳典「基本周波数パタンに見られる発話態度の分析」『情報処理学会研究報告ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)』2004.74 (情報処理学会,2004)pp.87-92.

笹目友香,小渕千絵,山本弥生,城間将江,野口佳裕「音韻情報と韻律情報の一致･不一致が感情判断に与える影響」『国際医療福祉大学学会誌』26(抄録号) (国際医療福祉大学学会,2021) p.140.

重永實「感情の判別分析からみた感情音声の特性」『電子情報通信学会論文誌.A, 基礎・境界=The IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences (Japanese edition).A』83.6(電子情報通信学会,2000)pp.726-735.

渋谷貴紀,川端豪「音声対話システムのための親近感特徴量の探索『電子情報通信学会技術研究報告 = IEICE technical report : 信学技報』106.122(電子情報通信学会,2006)pp.25-30.

渋谷貴紀,益永祐吾,川端豪「F0分布に基づく親近感特徴量の話者適応」『情報処理学会研究報告音声言語情報処理 (SLP)』2007.(129(2007-SLP-069))(情報処理学会,2007)pp.67-72.

須藤潤「「うん系」感動詞の韻律的特徴に関する―考察―「受け入れ」にかかわる意味・機能をめぐって―」『ポリグロシア』15(立命館アジア太平洋大学,2008)pp.99-108.

多田和彦,矢野良和,道木慎二,大熊繁(2010) 「感情遷移における急激な韻律特徴変化の検出による感情遷移判別法」『知能と情報』22.1,pp.90-101.

鶴真紀子,武田昌一「アナウンサーが発声した「怒り」の韻律的特徴と聴覚的印象の主成分分析を用いた比較」『久留米信愛女学院短期大学研究紀要』30(久留米信愛女学院短期大学,2007)pp.65-70.

鶴真紀子,武田昌一「種々の度合の感情音声における発話者の意図と聞き手の受容の一致率と韻律的特徴との関係」『日本感性工学会論文誌』13.2(日本感性工学会,2014)pp.381-389.

戸上雅夫,飯田仁「学習者の理解度把握へ向けたeラーニング学習中の音声の音響的特徴分析」『第69回全国大会講演論文集』2007.1(情報処理学会,2007)pp.575-576.

登張真稲「共感の神経イメージング研究から分かること」『発達心理学研究』25.4, pp.412-421.

豊田薫,宮越喜浩,山西良典,加藤昇平「発話状態時間長に着目した対話雰囲気推定」『人工知能学会論文誌』27.2(人工知能学会,2012)pp.16-21.

西村良太,北岡教英,中川聖一「音声対話における韻律変化をもたらす要因分析」『音声研究』13.3(日本音声学会,2009)pp.66-84.

藤江真也,江尻康,菊池英明,小林哲則「肯定的/否定的発話態度の認識とその音声対話システムへの応用」『電子情報通信学会論文誌D』J88-D2.3(電子情報通信学会, 2005)pp.489-498.

藤木大介,若杉佳彦,楞野祥子,岩本理沙,島田英昭「作動記憶負荷が物語への共感的反応に及ぼす影響」『心理学研究』88.4, pp.390-395.

前川喜久雄「韻律とコミュニケーション」『日本音響学会誌』55.2(日本音響学会, 1999)pp.119-125.

宮﨑健斗,片上大輔「マルチモーダル情報に基づく就職面接場面における被面接者の評価モデルの提案」『人工知能学会論文誌』36.5(人工知能学会,2021)pp.1-9.

宮澤幸希,佐藤可直「音声対話システムとのコミュニケーション円滑化を目的とした韻律情報からの態度推定」『言語・音声理解と対話処理研究会』95(言語・音声理解と対話処理研究会,2022)pp.75-80.

横谷謙次,高木源,若島孔文「心理面接中の韻律の類似性が信頼関係を予測する」『第82回全国大会講演論文集』2020.1(情報処理学会,2020)pp.47-48.

吉田幸恵,中田はる佳,武藤香織「臨床試験に関与した, がん患者の語り-｢治療｣と｢研究｣を区別することの困難さに関する考察」『生命倫理』27.1(日本生命倫理学会,2017) pp.122-131.

李遠超,井上昂治,中村静,高梨克也,石井カルロス寿憲,河原達也「ヒューマンロボットインタラクションにおける韻律とテキスト情報を組み合わせた感情認識と評価応答選択」『人工知能学会研究会資料』79(言語・音声理解と対話処理研究会,2017)p.9.

渡邉綾「日本在住外国人の医療体験に関するインタビュー:言語・非言語資源を用いた共感的反応の協働構築」『言語文化共同研究プロジェクト』2017, pp.23-31.